

で流だより(今)



令和7年10月15日発行<前期号>

障害のある子どもたちと障害のない子どもたちが共に活動する機会を通して、互いを正しく理解し、共に助け 合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶことができるように、国、県と共に交流及び共同学習を推進し ています。

本校でも、児童生徒が自分の住んでいる地区の学校を訪問し、居住地校交流を行っています。前期は、小学部 9名の児童が交流を行いました。前期に実施した交流の様子を紹介いたします。



長木小学校 2年生

体育で、水泳を行いました。列 車ごっこや、輪くぐりなどを楽し みました。



山瀬小学校 3年生

体育で、ボールを使って的当 てやシュートゲームをして、盛り 上がりました。



城西小学校 5年生

図工で、クレヨンを使って、い くつかの描き方で花火を表現す る活動を楽しみました。

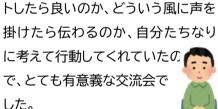
相手校の子どもたちが、どうサポー

保護者の方の感想

プール遊びだったので、とても楽し そうでした。お友達の「こっちだよ」の 声に反応してついて入ったり、少し 「待つ」ができていたりして、 すごいなと思いました。



好きなボール遊びの交流で、笑顔 で楽しく活動できていました。お友達 もフォローをしてくれたり、たくさん 声を掛けてくれたりして、私も うれしく思いました。





交流校の先生からの感想

プールが終わった後に、「もっと一 緒に授業がしたい!「来年まで待て ない!」との声がたくさんあがりまし た。事前に設置してくださった比内 支援学校のパネルは、交流学年以外 の児童も見ていました。

昨年度も交流があったので、最初か ら打ち解けた様子でした。ゲストティ ーチャー(事前学習)で教わった3つ のポイント「名前をよぶ」「えがお」「あ ったかことば」に気を付けて接してい ました。

これまで何度も交流していたことも あり、名前で呼んでいたのが自然だ ったと感じました。交流の後の見送り では、「またね~!」とハイタッチをし ていた姿もあり、楽しめたことが伝わ りました。

ゲストティーチャーについて





居住地校交流を行う前に、本校職員が交流校を訪問し、出前授業 を行っています。(写真:令和7年6月 長木小学校にて)

ゲストティーチャーでは、比内支援学校に ついて(支援学校にはどのような工夫がある のか、学習や行事の様子、交流する児童生徒 の頑張っていること等)や仲良く交流するた めのコツ(笑顔・ふわふわ言葉※等)について 講話をします。また、友達を思いやって言葉 を掛けられるように、簡単なゲームを通して 話し方やふわふわ言葉で声を掛ける練習を 行っています。

※ふわふわ言葉とは、誘う・励ます・ほめる・安心 させる言葉等、相手の心をあたためる言葉です。